

植物ゲノム・遺伝子源解析センター 月例セミナー

とき 平成26年1月24日（金）16時～17時

ところ 農学部 DS304講義室

題目 「エピジェネティクス事始」

講師 農学部助教 池田 滋

概略

生物はさまざまな環境ストレスに適応して生存しています。そのために必要なさまざまな遺伝子発現を可能にする情報がゲノムに存在します。物理的・化学的環境ストレスのほかに、人間の高度に進歩した社会では、親によるわが子の虐待やネグレクト、小集団内で横行するイジメ、その他さまざまな社会的ストレスが加わります。諺に親の因果が子や孫の世代にまで報いるとあります。旧約聖書には父親が罪を犯せば子や孫が裁かれるとあります。世代を越えた因果応報です。複数世代に及ぶ自業自得です。そんな理不尽な現象が生物界で実際に起きていることが明らかになってきました。ジェネティクス（ゲノム、突然変異）だけでは説明できない現象がエピジェネティクス（エピゲノム、エピ変異）により説明され、ゲノムがエピゲノムにより補完されと考えられるようになりました。

本セミナーでは約20年間のエピジェネティクスの発展を振り返りながら、エピジェネティクスの面白さを紹介します。

主催：香川大学農学部 植物ゲノム・遺伝子源解析センター
(<http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/phytogene/index.html>)